

平成 22 年度 NPO 法人北海道遺産協議会事業計画（案）

1. 基本的な考え方

（1）NPO 法人北海道遺産協議会の基盤強化

- ・平成 21 年 4 月より NPO 法人北海道遺産協議会としての実質的な活動を開始いたしました。応援団、正会員、そして賛助会員組織も一度解散し、新たな会員組織の構築と会員募集を行つてきました。
- ・会員数については、ほぼ目標を達成できたものの、しかし、まだまだ万全の態勢とはいえない状況であり、さらなる会員増や事業収入増と事務局運営の効率化を進め、持続的な運営が可能な体制づくりのための基盤強化をしていく必要があります。
- ・平成 18 年度以降の基本方針である「それぞれ北海道遺産の“物語”を多くの人に伝える」ことをベースにしつつ、常に上記を念頭に置きながら事業を実施していきます。

（2）地域・サポーターとの連携について

- ・昨年度は会員・遺産選定地域等関係者・旅行会社等が参加、交流・連携による地域活性化を検討する交流会議を実施（約 100 名が参加）しました。今年度はさらに地域との連携を密にし、各地域と協力しながら、ホームページを使った効果的な地域情報の発信等を行います。
- ・また、今年 3 月には全国の地域遺産保全活動団体のネットワーク構築のキックオフイベントともいえる「地域遺産フォーラム 2010」が東京で開催され、当協議会も参加しました。こうしたネットワークを通じて、各地の情報収集を進めるほか、積極的に北海道遺産についても情報発信を行っていきます。
- ・さらに、昨年度から今年度にかけて、大手企業数社から、北海道遺産をテーマにした社会貢献活動の実施についての案件もあり、実現に向けて準備を進めているところです。
- ・こうした動きについても、常に地域と情報共有を行っていくことで、北海道遺産に選定されている地域としての認識を今一度深めてもらい、連携体制の再構築を図っていきます。

（3）実施事業について

- ・（1）（2）をふまえ、「普及啓発事業（各種情報発信、スタンプラリーなど）」「地域活動促進支援事業（地域情報収集・発信、北海道遺産を学ぶ講座の開催など）」「保全活用推進事業（ほつかいどうムラの宝物さがしプロジェクト）」の 3 本柱で事業を推進していきます。

（4）その他

- ・来年度（平成 23 年度）は北海道遺産選定 10 周年（H13.10.22 第 1 回選定・公表）にあたることから、何らかの記念イベントを行うこととし、今年度から準備を進めています。

2. 各事業について

(1) 普及啓発活動事業

「北海道遺産スタンプラリー」(7~12月)

昨年度、「北海道遺産 酒と食のスタンプラリー」と題し、食とお酒の魅力をメインテーマとした、大人向けの北海道遺産スタンプラリーを開催した。今年度は「五稜星をさがせ！」をテーマに、札幌市内の“五稜星”のある建物をめぐるスタンプラリーを実施予定。また、来年度以降の全道域での実施可能性を検討する。

○800千円

* 「(昨年度) 北海道遺産スタンプラリー チャレンジBOOK」参照

「北海道遺産DVD」と「公式ガイドブック」の販売（通年）

全道主要書店、開拓の村記念館ミュージアムショップ、中央バス大通バスターミナル2階パネル展示会場、事務局での販売を継続して行う。また、北海道遺産の選定地域を初めとし、委託販売等の販路拡大に努める。

○50千円

「ホームページでの情報発信と管理運営」(通年)

各地の北海道遺産をはじめとする地域遺産に関する情報を、ホームページ、メールニュースの発行、事務局ブログ、twitterなどを活用して、幅広く、タイムリーに発信する。

○100千円

「ニュースレターの発行」(年3回程度を予定)

昨年度から手づくりのニュースレター「北海道遺産情報紙」を発行している(年3回)。それまでの年1回から比べると、情報発信が頻度は高くなっていることから、今年度も継続して実施する。内容としては、協議会の活動情報、地域の行事情報など。正会員・賛助会員・関係者等に送付する。

○120千円

「イベントへの参加」(随時)

各種イベントへの出展など

○50千円

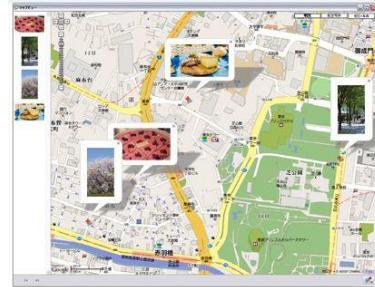
(2) 地域活動促進支援事業および地域とのタイアップ事業

「北海道遺産所在地域情報の収集・発信」(7~8月頃)

- ・それぞれの北海道遺産についてより掘り下げた情報を提供する。また、地域の観光情報（まちのおすすめスポットなど）等も掲載するなど、選定地域の協力を得ながら、各北海道遺産の個別ページの掲載情報を充実させる。
- ・上記に関連し、携帯電話などで撮った写真を提供してもらい、マップ上に表示するページについても検討を行う。

（右図参照）

○150千円



「北海道遺産を学ぶ講座」(9~10月頃)

今年度は赤煉瓦に関する全国大会が開催されることから、江別セラミックアートセンター等と連携し、「江別のれんが」を学ぶ講座、また、札幌オオドオリ大学と連携し、札幌市内の北海道遺産を学ぶ講座を計画。今年度の実施結果をふまえ、来年度以降札幌圏以外での実施も検討する。

○150千円

(3) 保全活用推進事業（ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト）

北海道遺産構想の趣旨を全道に普及する取り組みとして、平成19年度より応募を開始した「ほっかいどうムラの宝物プロジェクト」では、昨年度2回の実行委員会を開催し、第4次登録まで終了。ムラの宝物233件をデータベースに登録し、公式ホームページで公開している。本データベースは、所在地エリア・ジャンル・キーワード・フリーワードで検索をかけられ、各データの詳細を見られる構成としている。

◇現在の登録数

- ・233件（平成22年3月現在）

◇今年度の活動

- ・これまで自治体、観光協会、商工会からのみ応募を受け付けていたが、今年度はJ.C.、J.A.、ぎょれん等にも応募枠を拡大する予定。
- ・将来的に、500件程度の登録を目標とし、今後も引き続き随時応募を受け付け、データベースの拡充を図る。
- ・本年度についても2回前後の登録審査会を実施予定。
- ・市内で開催されるイベントへのブース出展等、プロジェクト自体のPRも行っていく。
- ・観光商品造成・商品化等の検討を開始する。

○300千円

(4) その他事業について

■会員募集について

◇北海道遺産選定地域の法人正会員加入のお願い

遺産選定地域とより強い連携をもち、北海道遺産構想を推進するため、正会員もしくは賛助会員として入会をお願いする。

◇従来の応援団企業・団体、正会員への法人会員加入のお願い

応援団・正会員としてご協賛、ご支援をいただいている企業・団体に対して、正会員もしくは賛助会員として継続的なご支援をお願いする。

■正会員一覧（6月14日現在）

◇市町村

上士幌町／増毛町／別海町／松前町／中標津町／俱知安町
標津町／黒松内町／浜中町

◇団体・協会

北海土地改良区／北海道和種馬保存協会／十勝川温泉旅館組合
特定非営利活動法人炭鉱の記憶推進事業団／北海道観光振興機構
昭和新山国際雪合戦実行委員会

◇企業・その他

北海道旅客鉄道株式会社／福山醸造株式会社／医療法人社団宮崎整形外科医院
中道リース株式会社／株式会社エヌ・ティ・ティドコモ北海道支社
北海道銀行個人営業部／北海道中央バス／サッポロビール博物館
㈱竹中工務店 北海道支店／㈱シービーツアーズ

■会員特典サービス拡大

会員サービス拡大するため、北海道遺産選定地域・企業等にご協力のお願いを行う。

■ロゴマーク有料化の実施

昨年度、商標登録を行う（平成21年7月9日申請、同12月4日登録）など準備を進めてきたが、今年度、北海道遺産ロゴマークの有料化を実施する。実施にあたっては、別途「ロゴ使用規定」を定める。

※使用料金：

会員 3,000円、非会員 20,000円（1件あたり）を予定

■事業受託企画の検討

観光庁関連事業や、緊急雇用事業、ふるさと雇用対策特別対策事業等の企画・助成金公募には積極的に応募をし、事業収入を得られるよう努める。



商標登録証第5285530号